

Case : 26

ベッドの背を上げたところ、利用者の身体が足側に大きくズレル

場面の説明

背上げ機能のみ使用していた



利用シーン	 起居・就寝  リモコン操作
主な利用場所	 寝室
介護保険の種目	 特殊寝台
分類コード (CCTA95)	181209 (電動ギャッチベッド)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

解説

ベッドは簡単なスイッチ操作で背もたれの上下が可能ですが、背もたれだけの操作では身体が足方向に大きくズれます。この姿勢では腹部や胸が苦しくなりますので、ズレを抑えるために背を上げる前に足上げ操作をおこない、身体のズレを抑えます。ただしこの操作でも背や胸に強い圧迫を感じることがありますので、自身で身体を動かさない人では、背上げの後、背とマットレスとの間に空間を作り、身体の間との摩擦を解除する介助が必要となります。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：自分で寝る位置を調整できなかった
- 人：足側にズれない操作方法を教えられていなかった
- 人：提供者からの操作説明、注意喚起が不足していた
- モノ：ズレやすい構造のベッドだった